

**吹田市第4次総合計画シンポジウム  
報告書**

平成31年3月

吹田市



## 《 目 次 》

I. 概要 .....	1
1. 目的 .....	1
2. 名称 .....	1
3. 対象 .....	1
4. 日時・場所・参加者数 .....	1
5. プログラム.....	1
II. 開催結果等 .....	2
1. 概要 .....	2
2. アンケート結果 .....	2

# I. 概要

## 1. 目的

吹田市第4次総合計画の内容を市民に紹介し、本市の未来を考えていただく機会とするとともに、計画の啓発を行うことを目的として、シンポジウムを実施した。

## 2. 名称

吹田市第4次総合計画シンポジウム

## 3. 対象

吹田市内に在住・在学・在勤の方

## 4. 日時・場所・参加者数

実施日時：平成31年2月17日（日）午前10時～正午

場 所：千里市民センター 大ホール

参加者数：108人

## 5. プログラム

### (1) 市長あいさつ

吹田市長 後藤 圭二

### (2) 吹田市第4次総合計画の概要説明

吹田市行政経営部企画財政室 参事 岡本 邦裕

### (3) 基調講演「これからの地方自治」

～吹田市総合計画からもう一歩先へ～

大阪大学大学院 法学研究科 教授 北村 亘 氏

### (4) パネルディスカッション

コーディネーター：大阪大学大学院 法学研究科 教授 北村 亘 氏

パネリスト：元大阪教育大学 教職教育研究センター 特任教授 島 善信 氏

梅花女子大学 心理こども学部 教授 井元 真澄 氏

千里金蘭大学 生活科学部 講師 岸本 みさ子 氏

吹田市長 後藤 圭二

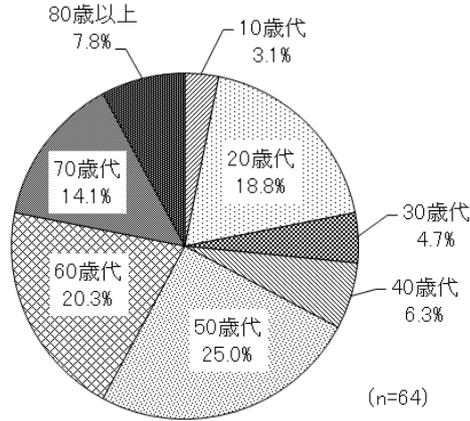
## II. 開催結果等

### 1. 概要

別添資料のとおり。

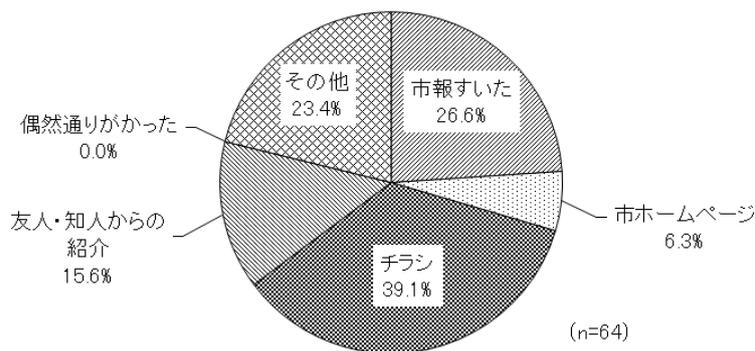
### 2. アンケート結果

#### 【Q1】年齢



	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
件数	64	2	12	3	4	16	13	9	5	0
%	100.0	3.1	18.8	4.7	6.3	25.0	20.3	14.1	7.8	0.0

#### 【Q2】本シンポジウムをどのように知ったか

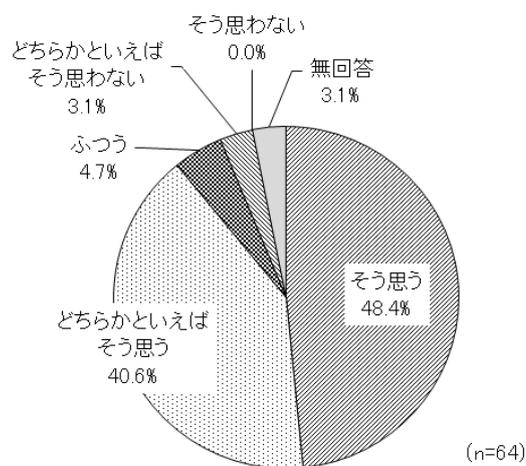


	全体	市報すいた	市ホームページ	チラシ	友人・知人からの紹介	偶然通りがかった	その他	無回答
件数	64	17	4	25	10	0	15	0
%	100.0	26.6	6.3	39.1	15.6	0.0	23.4	0.0

【Q2】その他の回答

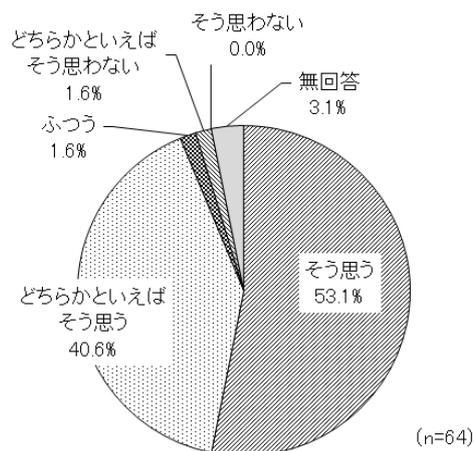
- ・大学サークル関連
- ・図書館でチラシを見て知りました。
- ・マンションに貼り出し
- ・元審議会委員
- ・自治会
- ・事務局からの案内
- ・市職員

【Q3-1】総合計画の概要を理解できた



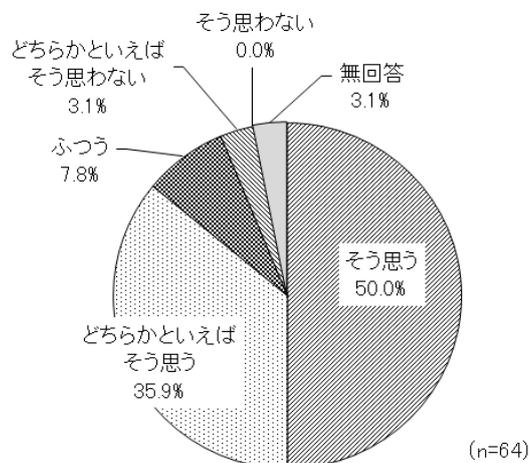
	全体	そう思わない	どちらかとい えば そう思わない	ふつう	どちらかとい えば そう思う	そう思う	無回答
件数	64	0	2	3	26	31	2
%	100.0	0.0	3.1	4.7	40.6	48.4	3.1

【Q 3 - 2】 これからの地方自治についての理解が深まった



	全体	そう思わない	どちらかとい えば そう思わない	ふつう	どちらかとい えば そう思う	そう思う	無回答
件数	64	0	1	1	26	34	2
%	100.0	0.0	1.6	1.6	40.6	53.1	3.1

【Q 3 - 3】 これからの吹田のまちづくりについて、関心が高まった



	全 体	そう思わない	どちらかとい えば そう思わない	ふつう	どちらかとい えば そう思う	そう思う	無回答
件数	64	0	2	5	23	32	2
%	100.0	0.0	3.1	7.8	35.9	50.0	3.1

#### 【Q4】シンポジウムについての御意見・ご感想（自由記述）

- ・吹田市第4次総合計画に対して、市長をはじめ、審議会の委員の方々、市の職員の方々が、どのような思いで作成に取り組まれてきたのか、出来上がった総合計画を読むだけではなかなか分からないことを知ることができたので、とても面白く勉強になりました。
- ・市の総合計画についてこれほど多くの主体によって、熱く語られることは、府全体で見てもそう多くはなく、参加させていただけたことに感謝します。
- ・豊中市、吹田市、池田市を中心として北摂で活動させていただいているサークルの会員として、今後の吹田市（北摂）における地方自治のあり方について、市長及び有識者の方々の考え、方針が聞けたのでよかった。シンポジウムの時間をもっととって頂いてもよかった。
- ・概要版…大変分かりやすく、色彩感覚も良く、読みやすく、配布しても吹田市の概要が見ているだけで理解できる。良いものが作成されました。
- ・北村先生の話は、今後の地方自治行政について現状と方向性が理解できた。若年層と高齢層との住み分けがどう将来の発展につながるのか、もっと話を聞きたかった。
- ・舞台下右側で白紙にマンガ風到的確にとらえて書かれる姿勢は大変良かった。広報に役立たせてほしい。
- ・2028年高齢者は介護・老々・すべてが認知症になるわけではない。認知症にならない人への対応は健康対策ばかりですか？複合化。
- ・色々な見方・意見を聞き、知見を得た。
- ・地域に特色ある行政をお願いしたい。
- ・もっと地域経済を高める施策をお願いする。
- ・市民に市の方向性を伝えることは意義のあることだと思った。来てる人が思ったよりも少なかったもので、今回のことをHPやSNSで広く市民に周知すべきだと思った。
- ・地域課題が増えていくなかで、最低限の公共サービスを維持していくためには、行政と市民の共通理解を深めていく必要があると思った。
- ・なかなか話を聞く機会がなかったので、参加してよかった。
- ・概要版冊子のデザインがオシャレで中身もとても分かりやすかったです。資料2のグラフが多かったので白黒だとわかりにくかったので、カラーの方が良いと思いました。後藤市長の話がおもしろかったです！
- ・吹田市が成長を目指していない、成熟した自治体であることがわかりました。
- ・吹田市の8つの分野は良く解るが、3つの視点は何れか欠けていると思う。
- ・周辺の市町村との連携は必要。
- ・概要版資料は見やすい、分かりやすいので、最終的に素晴らしいものになって欲しい。
- ・数値の達成を目標とし、実際に達成されたら素晴らしい。
- ・今日はどうもありがとうございました。親しみやすいわかりやすい資料でよかったです。若い女性の力はすごいですね。広報もよくなったのですが、見る楽しみができました。フューチャーデザインも大切と実感しました。
- ・詳しく知りたくなった。友人・知人へ伝えたいと思います。
- ・理事会を振り返ると、吹田市の縮図と思えます。理事会をのぞきに來てください。
- ・事務局の皆様、素敵な概要版を作成して頂き、ありがとうございます。お疲れ様でした。シンポジウムは難しい話をわかりやすく説明されていたのが印象的でした。
- ・若い人が多いと感じた。座席とパネラーの位置関係グッド。顔が見やすく声もよく通っていた。

- ・市長の問題意識に興味を持てた。女性活用に積極的であることに感銘した。
- ・「殖産興業」or「経済的発展」が中心でなくなったことで、時代の変化を確実に感じた。（どうやって企業誘致するか今までの課題であった都市が多かったように思う）
- ・8つの分野に入っていない、吹田で重要な点があると思うのだが、それについては自分なりに考えたい。（「学際的都市の精神文化」の環境深化）
- ・吹田市の多行政地区との違い（メリット・デメリット）が認識できました。
- ・市長の吹田行政に対する強い想いを感じました。今後とも吹田市発展にリーダーシップを発揮してください。
- ・手話通訳は必要では？
- ・大変有意義なシンポジウムでした。もっと多くの市民に聞いてもらえるように、もう一工夫してPRすることが大切では。
- ・現状の問題点の上に立脚した総合計画の立案がある。少子高齢化に対する具体的な問題に対する解決策案を立てる必要がある。パネラーが色々話していたが何を言っているのか理解出来ない。（マイクの問題か？）一般からの質問が出さないのはなぜ？市長選のため？
- ・教育の問題は興味深かった。
- ・わかりやすくよく理解できた。
- ・若い人材も貴重なけれど、戦後日本の復興時の功労を忘れずに！
- ・楽しく散らかったシンポジウムでした。
- ・勉強になりました。
- ・策定に関わった先生方の思いがわかり、本市の特徴を再確認したことで、吹田市第4次総合計画への親しみが増しました。
- ・少子高齢化と人口減少に伴う諸問題を見据える。
- ・介護と外国人増加など、災害・税収の減少に対する今後の対応の難しさ（安心・すこやか・快適）？どうする？これらに関心を持てた。
- ・（維持・下降・上昇の3パターン）街の魅力・強み、総合計画の将来像。実現に向け→行政の役割。自治体の連携。
- ・貴重な機会をありがとうございました。
- ・総合計画について理解が深まった。勉強になった。
- ・時間が足りないように思います。
- ・吹田市第4次総合計画「概要版」の作成のプロセスを聞いたが、良く出来ていると思います。家に保管して次の計画にも参考にします。AIの取り扱いが問題になったが、考え直します。
- ・安心・健やか・元気なまちづくりに頑張ってください。
- ・市の職員ですが、市民でもあり、本日は市民目線で吹田市の未来について考える機会をいただきました。大変有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・市長が説明されたように、5～10年後の吹田市をめざして計画されている事を始めて知りました。市報にも詳しく出てはいなかったと思います。自治会の役員会の時に説明して今後の吹田を見守って、どういう協力出来るのか考えていきたいと思います。計画はすばらしいので、いかに実行していくかが問題と思う。（絵に書いた餅にならないよう応援したい）



## 01 開催概要

日時：2019年2月17日（日）  
10:00～正午  
会場：千里市民センター大ホール  
参加者数：108名

新しい総合計画の策定にあたって、その概要を市民の皆様にご覧いただき、シンポジウムを開催しました。

吹田市の将来について、審議会で意見を頂戴した大学（学識経験者）の先生方や、後藤市長によるパネルディスカッション等を通じて、総合計画策定にあたっての思いを語っていただき、今後必要となる取組について、じっくりと考える機会となりました。その様子を簡単にご紹介いたします。



▲受付の様子

## 02 市長挨拶

冒頭に後藤市長から挨拶がありました。挨拶のポイントは次の3点です。

まず、総合計画は吹田市がめざすべき方向性を示したものであり、ぜひ市民の皆さんに手に取って頂きたいということ。

次に、冊子のデザインに工夫を凝らし、市民にも共有しやすいものとする中で、他市と比較してもデザイン性に優れた冊子になったことを引き合いに、若い力を活用することが大切だということ。

最後に、これまでの取組を十分に踏まえたうえで、これからの取組を市民の皆さんと一緒に作り上げていきたいということでした。



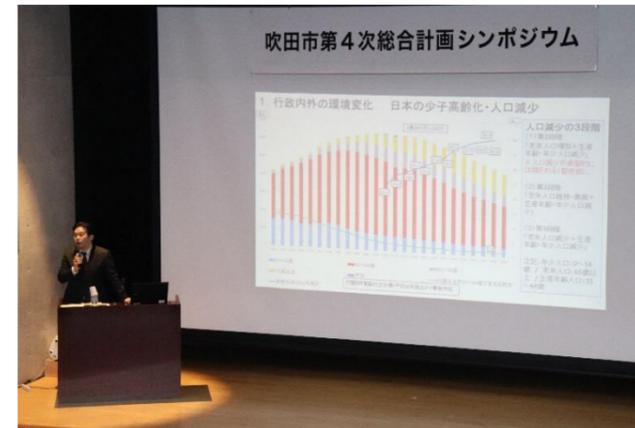
▲後藤市長による挨拶

## 03 基調講演「これからの地方自治」

総合計画審議会で、会長を務めていただいた大阪大学の北村先生から、「これからの地方自治」というタイトルの基調講演がありました。

人口減少の世の中では、需要が減少すること、高齢者や外国人労働者が増え、医療費等も増えていく中で、公共サービスの水準を見直していかなければならないことなどが課題として挙げられました。

今後は様々な主体と連携しつつ、市全体の利益の追求を行う必要があること、AI（人工知能）を導入する、他市と連携協約を結んで無駄を省くなどの取組も必要になるということでした。



▲北村教授による基調講演

## 04 パネルディスカッション

総合計画審議会で計画策定にご尽力くださった北村先生、島先生、井元先生、岸本先生に加えて、後藤市長の5名でパネルディスカッションを行いました。

島先生は、教育において、習得した知識を使いこなす能力が求められていること、井元先生は家族の形が変わっていく中で、「家族ではない」つながりを活かすこと、岸本先生は数値目標を立てるだけでなく、実行するプロセスを市民と共有することが大事であることなどをお話されました。

後藤市長は、市の魅力をさらに高め、将来世代につないでいくこと、吹田市の特徴を捉えることが大事だということをお話でした。



▲パネルディスカッションの様子



吹田市第4次総合計画シンポジウム  
報告書

平成31年(2019年)3月

吹田市 行政経営部 企画財政室